

## 平成28年度事業報告

[はじめに]

平成28年度は、公益事業においては、千葉県福祉ふれあいプラザの千葉県指定管理事業は、指定管理第3期の3年目を迎え、千葉県高齢者保健福祉計画にふれあいプラザに対する認知症予防に関する事業強化等の目標が加わり、地域の要望に応えるべく事業展開を図った結果、年間利用者数は昨年度を上回り、2年連続20万人超えを果たしました。また、港区アクティブシニア就業支援センター「みなと＊しごと55」は、都内アクティブシニアセンターの中でトップクラスの就職者数を誇り、その存在感を示しています。第三者評価事業においては人員体制強化を図り、本格事業として展開いたしました。コミュニティカフェについては自主事業として東京で「コミュニティカフェ開設講座」を2期、「認知症カフェ・ケアラーズカフェ開設講座」を1期、千葉市では「コミュニティカフェ開設講座」を1期開催し、3月にはコミュニティカフェ全国交流会を行い多数の参加者を得て盛況に終わりました。

収益事業においては、収益事業の柱である「高齢者疑似体験事業」において「貸出」「部分品」は好調な売上げでしたが「セット販売」が不振であり、収入は前年割れの大幅予算未達に終わりました。一方、受託研修事業は、初任者研修のほかに介護予防・日常生活支援総合事業「生活支援サービス研修」を東京しごと財団の委託事業として開催しましたが、大幅な収支改善には繋がりませんでした。事業推進の基盤はまだまだ脆弱であり、新規事業も視野に入れながら基盤強化に向け取り組んでいきます。

その他、4月14日・16日に発災した熊本地震に関しては、日本財団より被災地熊本支援の助成金が交付され、会員有志と役員が3回にわたり、被災地介護施設での各種催し物や音楽祭開催を通じ、支援活動を実施しました。また9月にはオーストラリア高齢者福祉施設視察旅行を実施、そして、2月には恒例の第4回「WAC在宅介護フォーラム in 滋賀」を開催しました。

また、11月18日に成立した、介護業界における介護職不足に伴う「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律（技能実習法）」の内容、および同法に関わる具体的な仕組みについて調査研究を行いました。それに合わせて、我が国が外国人介護人材を導入する場合どのような制度であるべきかをまとめ、「外国人技能実習制度に介護職種が加わることに関する提案書」として厚労省へ提言いたしました。

28 年度、会員数は微減に留まりましたが、いまだ会員数は減少傾向にあります。ポイント拡大も停滞気味であり、今後もあらゆる活動を通じて、法人会員含め会員拡大やポイント拡大に継続的に努めていきます。

## 会員の動向に関して

### 《個人会員》

平成 29 年 3 月末時点での個人会員は 1,517 人で、内訳は（正会員 147 人、賛助会員 1,072 人、配偶者会員 298 人）です。

会費納入した会員数内訳：

個人正会員 126 人（男 63 人、女 63 人）

個人賛助会員 663 人（男 276 人、女 387 人）

### 《法人会員》

平成 29 年 3 月末時点での法人賛助会員は 17 団体です。また、団体賛助会員は 8 団体です。

<b>法人</b>	<b>賛助会員</b>	MS&AD 基礎研究所(株)、ティ・シー・アイ ジャパン(株)、久光製薬(株)、(一社) 日本青少年育成協会、(一財) 高齢者住宅財団、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(一社) 日本健康麻将協会、(一社) コミュニティネットワーク協会、NPO 法人東京山の手まごころサービス、(一社) 日本産業カウンセラー協会、NPO 法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構、学校法人篠原学園 篠原保育医療情報専門学校、NPO 法人 SSS ネットワーク、エーザイ(株)、YKK AP (株)、NPO 法人金沢観光創造会議、名古屋大谷高等学校
<b>団体</b>	<b>賛助会員</b>	NPO 法人日本心身機能活性療法指導士会、東友会関東支部、(一財) 全国勤労者福祉・共済振興協会、NPO 法人りすシステム、(公財) さわやか福祉財団、NPO 法人楽生、(公社) 新潟県介護福祉士会、NPO 法人ナイチンゲール

## 事業に関して

### 【公益事業報告】

#### 〔公1事業〕

#### ≪高齢者福祉増進・啓発事業≫

#### ○高齢者の福祉・健康・いきがづくり等支援事業 (千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

千葉県福祉ふれあいプラザ（ふれプラ）の指定管理者として法令を順守し、承認された事業計画に基づき、NPO 法人 ACOBA との共同事業体で運営しました。

28年度は第3期指定管理(平成26年4月1日～平成31年3月31日)の3年目であり、千葉県高齢者保健福祉計画（平成27年4月1日～平成30年3月31日）にふれプラに対する目標（認知症予防に関する事業の強化、福祉機器展及び介護実習センターの利用者増）が加わり、要望に応えるべく事業展開を図りました。

結果、総利用者数が2年連続20万人越えを果たし、福祉機器展は常設展示も含め目標値2,900人に対して実績4,559人で大幅増となりました。

認知症予防に関しては朝田隆講師による講演会に428人参加、テキストから開発した介護予防講習「ピンピンキラリ初歩麻雀」（全36回）に累計1,043人参加、介護予防トレーニングセンターにおけるオレンジ教室の成果を第6回日本認知症予防学会学術集会（会場東北大学）において発表するなど積極的に実践しました。

市町村職員対象の介護予防担当者研修では地域包括支援センター支援を前面に出し、地域包括ケアシステム・認知症カフェなどをテーマに実施して15市町が参加しました。

利用者アンケートは貸館登録団体930団体中402団体回答があり施設満足度67%で昨年度と同率でした。トレーニングセンター登録利用者1,000人中833人が回答して93%が満足・やや満足という高い満足度が示されました。

職員に対しては新制度に基づいてストレスチェックを行い、結果を受けて高ストレス部署の人員強化を図りました。

利用料収入、収支とも昨年度を上回り、千葉県による指定管理運営状況の評価（平成27年事業）においては「優良」の総合評価を受けました。

	28年度計画・予算	28年度実績	27年度実績
総利用者数（人）	200,000	211,149	205,282
利用料収入（円）	25,600,000	25,936,502	25,659,440

## ○福祉サービスの質の向上事業

### (第三者評価事業)

本年度は事業としての初年度を迎え、収入予算 10,000 千円に対して、実績は 13,724 千円で終了しました。

評価件数は 48 件で、契約先の内訳は、品川区 31 件、目黒区 2 件、民間 15 件でした。

提供サービスの内訳は、グループホーム 14 件、特別養護老人ホーム 13 件、ショートステイ・デイサービス 12 件、老健・特定施設 6 件、利用者調査 3 件です。

収支は人件費等の経費をカバーして、585 千円のプラスとなり目標を達成しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
13,724	13,139	585

## ○長寿社会の啓発事業

### (「ふれあいねっと(会員向け情報誌)」の発行)

4月28日に270号を発行し、2015年度のコミュニティカフェ開設・交流支援事業(2期のコミュニティカフェ開設講座、コミュニティカフェ全国交流会)を特集しました。

また、認知症カフェについて、千葉県福祉ふれあいプラザと千葉県内4カフェの開催例を紹介し、主要自治体の補助例をまとめました。

6月20日に271号を発行し、地域包括ケアについて山形県酒田市と千葉市のポイント、コミュニティカフェ開設講座の受講生が開いた4つのカフェを紹介しました。そして、4月に発生した熊本地震へのWACの支援活動について会員へご案内しました。

10月20日に272号を発行し、活発に活動しているポイントを紹介し会員間の情報交流のきっかけづくりのため「ポイント探訪」として「WAC 豊齢健康の街づくり」(埼玉県ふじみ野市)を紹介しました。また定時総会の模様や全国のWACポイント・50拠点の活動一覧、7月に行った1次隊、2次隊の熊本支援活動を掲載しました。

3月10日に273号を発行し、前号に引き続き「ポイント探訪」で東京都品川区のポイントを紹介しました。また、現地会員による第3次隊熊本支援活動を掲載しました。そして、外国人技能実習制度に介護職が追加になることについて、解説記事を掲載しました。

以上、年間4回発行しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
0	3,413	-3,413

## 〔公2事業〕

### ≪高齢者の雇用・就労支援事業≫

#### （「みなと＊しごと55」港区アクティブシニア就業支援センター）

28年度は、求職者・求人・紹介ともに増加しているにもかかわらず、就職者は減少となりました。年齢・スキル・キャリア・メンタルなどの理由から、非常に就職困難な求職者が増え、かつ、採用困難な求人（清掃や飲食求人）が増加した観があります。

29年度への対策が必須であり、本当の就職困難者に対する支援内容が問われる状況になってきました。28年度の実績結果は以下のとおりです。

求職者数：2,122人（前年1,989人、前年比106.7%）、目標2,200人（達成率96.5%）  
求人件数／求人人数：1,946件／4,649人（前年1,570件／3,297人、比123.9%／141.0%）  
目標1,600件／3,000人（達成率121.6%／155.0%）  
紹介件数：658件（前年595件、前年比110.6%）、目標700件（達成率94.0%）  
就職者数：233人（前年265人、前年比87.9%）、目標280人（達成率83.2%）

求人・求職での集客では、ポスティングを3回実施し、新規の求職者464人中80人、新規の事業所170社中41社がポスティングを見ての登録でした。その他、ホームページにフレッシュな求人情報の掲載を心がけ、登録求職者にはメールマガジンで新しい情報を提供し来所を促しました。また、ハローワーク品川への出張説明会も実施しました。

年4回実施した再就職支援セミナーでは、グループワーク方式を取り入れるなどの試みを実施、好評を得ました。

同様に合同就職面接会でも、求人票の貼り出しや、職員からの声掛けなどを行い、面接件数が増えるよう積極的にアプローチしました。

また、日々、来所した求職者が手ぶらでは帰らないよう、全社員で対応しました。

（単位＝千円）

収入実績	支出実績	収支実績
24,506	24,506	0

## 〔公3事業〕

### ≪地域の相互扶助機能活性化事業≫

#### （コミュニティカフェ）

28年度は自主事業として、東京でコミュニティカフェ開設講座を2期、認知症カフェ・ケアラズカフェ開設講座を1期、千葉市で千葉県福祉ふれあいプラザの出張県民研修として1期開きました。合計80人（単回参加も含む）が受講しましたが、東京圏外の静岡・大阪から通った受講生もいました。

その中から計 8 人が、3 月に東京で開かれた全国交流会に出席し、約 150 人の参加者の前で開設プランを発表しました。グループ討論では 15 テーマに分かれ、コミュニティカフェの運営や課題について語り合い、それぞれ交流を深めていました。

また、28 年度は初めて外部の連続講座に講師を派遣し、一部、講座の運営も行いました。

千葉県柏市の「サロンやカフェなどの通いの場 基礎講座」を受託し、4 日間の日程中 3 日間の講座で講師を派遣し、講座を運営しました。

川崎市宮前区からは「地域のつながりワークショップ&コミュニティカフェの 1 日店員体験」に講師派遣の照会があり、2 地区で計 6 回の講座（毎回 2～3 時間）を行いました。

東京都世田谷区で開かれたフォーラム「世田谷発～まちの居場所をつくろう～」で後援しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
1, 499	3, 159	- 1, 660

## 【収益事業報告】

### 〔収 1 事業〕

#### ≪高齢者福祉関係人材育成事業≫

##### ・介護職員初任者研修（通信）

介護職員初任者研修（通信）は千葉県松戸市のポイントで【ふれあいネットまつど校】（4 月～6 月）1 コース 12 人、(株)パソナからの委託事業で、東京都北区女性の再就職支援事業（4 月～5 月）で 1 コース 14 人、川崎市介護人材育成雇用事業（8 月～9 月、10 月～11 月）で 2 コース開催し計 28 人受講修了しました。また、川崎市介護人材育成雇用事業で、市内の介護施設で新人の研修を行っている担当者研修を 6 回、修了生にフォローアップ研修を 2 回行いました。

##### ・東京しごと財団から委託の研修実施

平成 28 年度は、前年度に引き続き、介護予防・日常生活支援総合事業「生活支援サービス研修」を、東京しごと財団からの委託事業として開催しました。（年 6 回）

平成 29 年度末の日常生活支援総合事業移行へ向けて、都内各シルバー人材センターの会員に地域で事業の担い手として必要な知識・技術の研修を 1 コース 5 日間で行いました。2 年間で受講者は 167 人です。また都内のシルバー人材センターの会員・役員向け研修を中野区、荒川区、多摩地区のシルバー人材センターから依頼され、講師派遣を行いました。

・ **その他研修実施**

愛知県が㈱パソナに委託した「あいち介護サポーターバンク運営事業」においてサポーターバンク登録希望者に生活支援サービスの研修を1月～2月末にかけ、県内10ヶ所で2日間開催しました。WACは研修カリキュラム作成と講師派遣、テキスト販売を行いました。研修カリキュラムにはWACの特徴である高齢者疑似体験や認知症についての講義を入れた研修内容としました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
17,511	15,106	2,405

〔収2事業〕

≪ **高齢者・認知症疑似体験事業** ≫

・ **高齢者疑似体験**

経済の不透明感が増し、企業でも予算削減が続く中、高齢者疑似体験事業は依然として厳しい状況ですが、高齢社会を見据え、高齢者疑似体験を取り入れた研修依頼は堅調で、質の高い研修を強みとするWACの研修への潜在需要は大きいと思われまます。また、既顧客に対しては定期的な情報提供など継続フォローを丁寧に行いました。販売では、毎年実施している1月～3月のキャンペーンで部品、セットとも売上を伸ばしました。

うらしまインストラクター養成研修は、6月6日・7日(受講者9人)、9月1日・2日(受講者18人)、12月1日・2日(受講者11人)、3月2日・3日(受講者19人)、出張研修で12月9日・10日(高知県社会福祉協議会、受講者39人)、社内限定インストラクター研修で2月7日(エルメッドエーザイ、受講者7人)の計6回行い、計103人が受講しました。

・ **認知症疑似体験**

4月に大阪のバリアフリー展に出展し、体験者数は3日間で300人強でした。山梨県介護実習普及センターで認知症疑似体験インストラクター養成研修を行いました。また、グループホームみさきの家(滋賀県大津市)、高齢者施設ぬくもりの里(北海道岩見沢市)において職員向け研修を行いました。埼玉県所沢市の㈱コクーン、東京都小平市の嘉悦大においてイベントとして認知症疑似体験を行いました。

(単位=千円)

	収入実績	支出実績	収支実績
高齢者疑似体験	17,490	11,356	6,134
認知症疑似体験	1,225	1,383	-158

### 〔収 3 事業〕

#### ≪介護予防事業≫

##### (品川区委託事業)

##### ・健康マージャン

高齢者の仲間づくり、生きがいくりの場として自治体との協働でのマージャン教室を設置し、これを年間通じ、さらに年度を越え継続して運営することにより、高齢者の継続的社会参加を実現し、介護予防に寄与しています。

##### ・男の手料理教室、わくわくクッキング、食事処

高齢者の介護予防事業として、品川区からの委託を受けて開催しました。

男の手料理教室は、平成 18 年度から開講、28 年度は 70 人でした。

地域活動連携型介護予防事業（わくわくクッキング）は、平成 24 年度から開講、28 年度は 2 コース開催し、年間延べ参加人数 434 人でした。

外出習慣化事業（大井食事処）の 3 コースは、年間を通じて開催しました。平成 25 年度から開講、年間延べ 180 人の参加です。

西大井いきいきセンターのレストランは一昨年 8 月にオープンし、月 1 回継続開催しています。

##### ・“脳をいきいき”パイ（牌）ゲーム

東京都品川区の新たな介護予防事業導入に向けて、28 年度の介護予防事業には採用されませんでした。品川区の施設の使用許可を頂き、モデル教室を継続してノウハウの蓄積に努めました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
7, 1 2 5	8, 1 2 3	- 9 9 8